

# いわて生協 環境活動報告書 2014年版 (2013年4月度～2014年3月度)

## 環境理念

2011年3月11日に発生した東日本大震災と福島第一原子力発電所の重大事故は、私たちの生活全般にわたって深刻な影響をもたらし続けています。

電気や化石燃料が十分に供給されることを前提にした従来の考え方は根本的に変えていくことが求められています。

いわて生協は、理事会で決定した「原発をすみやかに廃止し、自然エネルギーを中心としたエネルギー政策へ」の見解と方針に基づき、国に対して原発に頼らないエネルギー政策や再生可能エネルギーの急速な導入を求めます。また、自らも、原発に頼らない事業を継続するため、2020年までのCO<sub>2</sub>削減目標を持ち、再生可能エネルギーの活用・導入を積極的に推進し、従来から掲げてきた「持続可能な社会の実現」と人類共通の課題である地球温暖化防止のための活動に取り組みます。

## 環境方針

1. いわて生協は、東日本大震災によりくらしの価値観が大きく変わったことをふまえ、従来の活動の枠や発想にとらわれることなく、積極的に知恵を込めて以下の課題に取り組みます。

- ① いわて生協の事業における環境負荷を減らすため、マネジメントラインを通じて、全常勤者が、日常の仕事としてPDCAサイクルをまわして継続的な改善を積み重ねていきます。
- ② 資源を大切に活動を進め、組合員と一っしょに資源節約とリサイクル活動をさらに強めます。またレジ袋の有料化へ向けて取り組みます。
- ③ 産直商品、アイコープ商品の開発と利用普及や地産地消の活動をいっそう推進し、県内農林水産業の復興・振興に寄与します。
- ④ 地球温暖化防止対策として、常勤者も組合員も一っしょに、節電と燃料の効率的使用に取り組みます。また、軽油の代替燃料であるBDFの拡大、エネルギー効率のよい車両の導入を進めます。岩手の森林を保全・育成する取り組みを推進します。
- ⑤ 太陽光発電の発電量増大をはじめ再生可能エネルギー

の導入を推進します。また、施設・設備の省エネ型への更新、改修、変更を推進します。

2. いわて生協は、環境に関する法令を守り、事業によって環境を汚染しないよう、その予防に努めます。
3. 上記の課題に全常勤者が主体的に取り組めるように、環境教育を実施します。
4. この環境方針と環境活動の取り組みの結果を定期的に公表し、社会的責任を果たすとともに、環境問題について社会全体の取り組みがさらに進むことへ寄与します。

制定日 2011年5月23日

改定日 2012年5月28日

改定日 2013年5月27日

いわて生活協同組合

理事長 飯塚明彦

CO<sub>2</sub>排出量は、2005年度対比  
15.7%削減し目標達成

いわて生協の地球温暖化防止CO <sub>2</sub> 排出量削減計画	
基準年	2005年度
目標	2020年度までに温室効果ガス排出総量を基準年に対して10%削減する

2013年度のCO<sub>2</sub>（二酸化炭素）排出量は13,251トン（2005年度対比15.7%減）と2020年ビジョンで定めた2005年度対比10%削減の目標を達成しました。

2013年度は、太陽光発電の増設、遮熱塗装、LED照明への切り替えなど創電・省エネ設備を拡大し、また、全事業所で節電に取り組み、電気使用量を既存施設で前年比98.7%に抑制しました。さらに、大型風力発電への参加が決定し、CO<sub>2</sub>を3千トン削減する道筋ができました。

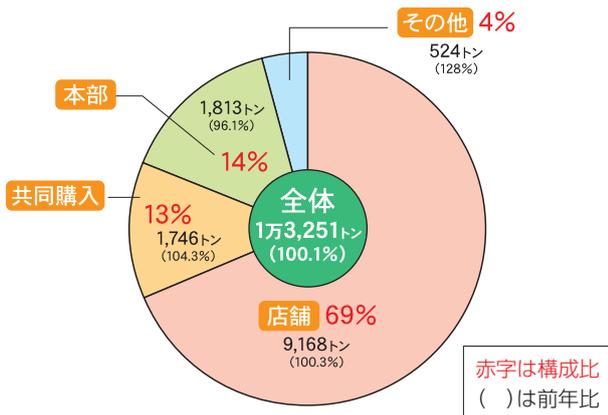
2013年度は、セリオホール牧野林・ベルフ八幡平の新事業所開設と宮古センター増築、被災地支援の移動販売車増車、共同購入利用者の増加など増加要因がありましたが、CO<sub>2</sub>排出量は前年比100.1%とほぼ前年並にすることができました。

■「2020年ビジョン」に対しての到達点

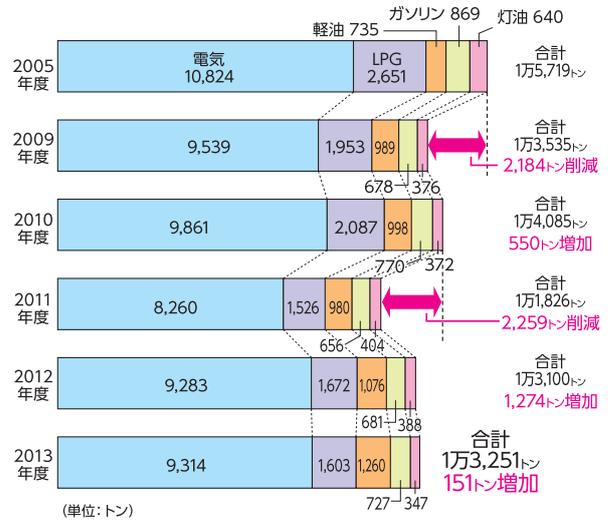
		05年度[基準年]	2013年度実績	2020年度目標
CO <sub>2</sub> 排出量	店舗	12,109トン	9,168トン	11,692トン
		100%	76%	97%
	共同購入・個配	1,336トン	1,746トン	1,862トン
		100%	131%	139%
	本部・セリオ・他	2,274トン	2,337トン	586トン
	100%	102%	26%	
合計	15,719トン	13,251トン	14,140トン	
	100%	84%	90%	

※2020年度目標には、風力発電によるCO<sub>2</sub>排出量減(3千トン)を含む。

事業別CO<sub>2</sub>排出量(単位:トン)



発生原因別CO<sub>2</sub>排出量(単位:トン)



地球温暖化防止にむけて、CO<sub>2</sub>排出量  
2005年度対比10%削減に取り組みます

地球温暖化の影響について、IPCC（気候変動に関する政府間パネル）から第5次レポートが発表されました。これまでに排出された温室効果ガスの影響により、今世紀末には気温が少なくとも2℃上昇すると見られ、くらしへのさまざまな影響が懸念されています。

いわて生協は、「2020年ビジョン」で掲げた、「2020年までに2005年度対比10%削減する」目標にむけて、第7次中期計画として引き続き以下の取り組みを行います。

環境分野の第7次中期計画

- 事業分野でCO<sub>2</sub>（二酸化炭素）削減を推進し、地球温暖化防止の社会的責任を果たします。
  - 2020年までにCO<sub>2</sub>排出量を2005年対比で10%削減します。
  - 環境保全型の国内農業の推進や環境配慮型商品開発と利用普及に取り組みます。
- 廃棄物の削減とリサイクルの徹底で循環型地域づくりに貢献します。
  - 廃棄物のリサイクル・有価物化を拡大します。
  - 店舗の生ゴミのリサイクルを広げます。
  - リサイクルセンターを建設します。
- 組合員とともに、環境にやさしい持続可能なくらしと地域の環境保全に貢献します。
  - レジ袋の削減（有料化）に取り組みます。
  - コープの森を広めます。
  - 組合員や子どもたちの学習をすすめ、家庭でのCO<sub>2</sub>削減をすすめます。



## 原子力発電に依存しない 電気使用量削減目標達成

いわて生協は、東日本大震災による原子力発電の重大事故を受けて、原子力発電から自然エネルギーを重視したエネルギー政策への転換を国に求めています。自らも、原子力発電に依存せずに事業を継続・発展させるために、電気使用量を2010年度対比17%削減（2010年度東北電力発電量に占める原子力発電の割合による）する目標を掲げています。

2013年度、いわて生協全体の電気使用量は、2,202万kWhで、2010年度対比17%削減となり、目標を3年連続達成しました。

### 創電 太陽光発電は、96kW増設し、 年間発電量は1.6倍に

2013年度は、セリオホール牧野林（16kW増設）、ベルフ山岸（49kW）、県南センター（31kW）に太陽光発電が設置され、合計9事業所225kWとなり、2013年度発電量は13万kWhで前年比163%となりました。

全施設通年稼働では、発電量25万kWhが見込まれ、CO<sub>2</sub>換算109トン削減に相当します。

#### ■太陽光発電を9事業所に設置

稼働開始（年度）	事業所名	設置規模（kW）
2007	セリオホールみたけ	10
2010	釜石センター	20
2011	セリオホールみやこ	10
2012	ベルフ牧野林	49
	久慈センター	20
	けせんセンター	20
2013	ベルフ山岸	49
	県南センター	31
	セリオホール牧野林	16
合計		225



ベルフ山岸に設置した太陽光発電。店舗への設置は県内流通業で先進的な取り組みです。

### 省エネ・節電 LED照明を導入し 3万kWhを節電

2013年度にLED照明への切り替えを実施した事業所は、事業本部・セットセンター・物流センターで、2万9,585kWhの節電が見込まれています。また、セリオホール牧野林・宮古センター・ベルフ八幡平の新事業所は全館LED照明となっています。

### 省エネ・節電 全事業所で節電に取り組む

店舗事業部では手順にそった節電に加え、凍結防止ヒーターの外気温に応じた運用管理、店舗外周照明のセンサー見直しなどで既存店前年比98%の節電を実現。共同購入事業部では、冷凍蓄冷剤用冷凍庫の週末運転停止等に取り組みました。



店舗では、空調効率を向上させるため空調室外機に散水し、真夏の節電に取り組みました。

共同購入センターでは、冷凍蓄冷剤用冷凍庫のブレーカーを手動でオフにし、待機電力をカット。

### 自然エネルギーを生かした 風力発電に共同で参加

みやぎ生協・コープあきたと共同で2,500kWの風力発電3基を秋田県に建設し、2015年度稼働をめざし準備がすすんでいます。いわて生協の2020年度予測電力使用量の18%に相当する発電、CO<sub>2</sub>削減量は2005年排出量の19%に相当します。



2013年12月、岩手・宮城・秋田の3生協と、市民風力発電など3社が調印。

### 排気ガスゼロの電気自動車4台導入

2014年4月、盛岡南センターに電気自動車4台を導入しました。1度に4台の電気自動車導入は県内初。

電気自動車は、排気ガスを排出しないので、排出ガス相当のCO<sub>2</sub>を年間9.2トン減らすことができます。



満タン充電で1回300円。ガソリンの1/10のコストで経済的にも優れています。

### 組合員からのリサイクル回収量は 3,312トン

組合員のリサイクル活動は、共同購入チラシ、卵パック、アルミ缶・スチール缶、古紙は増加しましたが、牛乳パックと発泡スチロールトレイは減少しました。

食品容器などのリサイクル回収量は3,312トンとなっています（詳細は23ページ）。



共同購入でも積極的に回収しています。

### 家庭用の使用済み揚げ油の回収は 前年の1.2倍に

使用済み揚げ油の回収量は、2万2千リットル（前年比120%）でした。使用済み揚げ油を精製したBDF（バイオディーゼル燃料）の使用量は、3万2,417リットル（前年比80%）に減少しました。これはBDFを使用できるトラックが35台から18台に減ったためです。軽油に代わりBDFを利用したことによるCO<sub>2</sub>排出の削減量は約85トンでした。

なお、自前施設でのBDF精製量は1万7,082リットルでした。

### 生ごみでガス発電、5.5トンのCO<sub>2</sub>削減に

店舗の生ごみは、2013年度320トンがリサイクルされました。盛岡・滝沢地区店舗は小岩井農場（バイオマスパワーすずくいし）で発酵ガス発電や液肥の原料として76トンが活用されています。奥州市のコープアテルイでは、オーガニック金ケ崎で堆肥の原料として43トン、宮古市のベルフ西町と一関市のコープ一関コルザでは動物の餌に16トンが再利用されています。そのほかに魚のアラや惣菜の油は、飼料や肥料の原料として185トンが再利用されています。

食品リサイクル率は、法律で45%以上に目標設定されています。

**2013年度  
食品リサイクル率 63%**

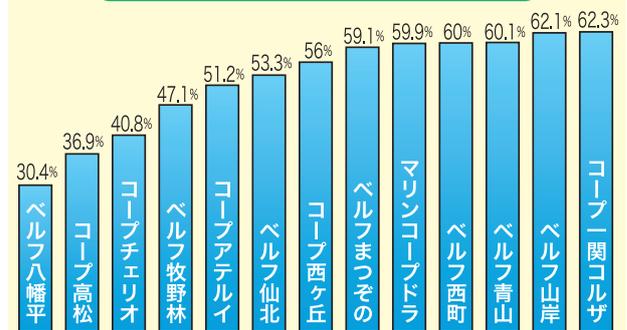
$$\text{食品リサイクル率 (\%)} = \frac{\text{リサイクルできている量 (320トン)}}{\text{リサイクル量 (320トン)} + \text{食品系廃棄物 (191トン)}} \times 100$$

### レジ袋節約率は54%、624万枚を節約 世界環境デーには81%に！

レジ袋節約（マイバッグ持参）率は、2014年3月度54%（前年度54%）、年間平均も54%でした。

レジ袋節約率 (2013年度)	54.2%
節約できたレジ袋 (2013年度)	624万枚
石油節約効果推計 (2013年度)	113,997ℓ (180缶で6,333缶分)
CO <sub>2</sub> 削減効果推計 (2013年度)	240,231kg

#### レジ袋節約率 全店平均 54%



6月5日「世界環境デー」を「マイバッグ持参の日」として、レジ袋節約を目標に取り組みました。店内放送やレジでの声かけ、リサイクル袋のご案内などにより、81%の方にレジ袋節約に協力いただきました。



マイバッグ持参の日は、リサイクル（再利用）袋の利用もおすすめです。

### ベルフ仙北での古紙回収は188トンでした

ベルフ仙北に設置している古紙の回収システムは古紙1kgにつき組合員カードに2ポイント付与されるしくみで、喜ばれ利用されています。2013年度は1万4千人・188トンのご利用（前年同期間比139%）でした。

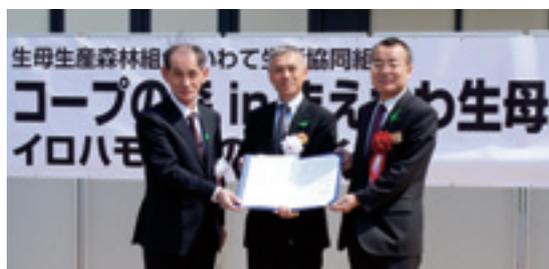
### ペットボトルキャップ回収の益金 4万4,760円をユニセフ募金に

店舗で回収しているペットボトルキャップ。2013年度は3.7トンを回収し、その益金4万4,760円をユニセフ募金へ寄付しました。

## 前沢生母生産組合と協力し 第2のコープの森づくり調印へ

「コープの森づくり」活動は、4回目の植樹を2013年6月に葛巻町で実施。組合員家族89人が参加し、トチノキ300本（葛巻森林組合への委託含め2,200本）を植樹し4年間で8,800本になりました。

「第2のコープの森」をめざして、2013年11月に行われた奥州市の前沢生母生産森林組合と地元小学校主催の植樹祭に、いわて生協組合員など100人が参加。これまで地元小学校の記念植樹として取り組まれてきた活動をいわて生協が引き継ぐことになり、2014年3月には「イロハモミジの森づくり」調印式が行われました。



コープアテイルで「コープの森」の森づくりを行いました。



コープ・関コルザや共同購入県南センター、本部（滝沢市）でも種まき。3年かけて苗木に育てていきます。

## コープの森づくり「苗木1本募金」は前年の2倍に広がる

2012年5月に「コープの森づくり基金」を設立し、組合員からリサイクル回収した牛乳パックの益金と共同購入チラシ益金の一部、「苗木1本募金」を積み立てています。基金は、植樹や森の手入れ、イベントなどの費用に活用しています。

### ■2013年度「コープの森基金」収支報告

収 入	苗木1本募金	25万7,664円
	回収した牛乳パック・共同購入チラシ売却代金	163万2,005円
	協賛金（コカコーラ様・花王様）	12万8,886円
	計	201万8,555円
支 出	植樹費用	121万4,880円
	計	121万4,880円
残		80万3,675円

※第2のコープの森整地費用94万円を2015年度に使用予定。  
※「コープの森基金」2013年度末残高は642万7,252円となりました。

## 「わが家の節電コンテスト」に318名が参加

家庭でできるだけ余分な電気を使わない工夫を募集する「節電コンテスト」を2013年7月に実施。318名（前年比120%）から応募がありました。「光を感知すると鳴るオルゴールを冷蔵庫に入れて閉閉時間を短くする」「物を詰めすぎないように1週間に1度冷蔵庫を整理する」など組合員活動情報交流誌「わいわいコープ」での事例紹介は好評でした。

## 「エコショップいわて」で ベルフまつぞのが総合表彰

岩手県が推進する「エコショップいわて」（認定店241店）の中から、ごみ減量とリサイクルに積極的に取り組んでいることが評価され、ベルフまつぞのが総合表彰を受賞しました。



ベルフまつぞの店長の山下健一。左は岩手県のエコ推進キーマン「エコロ」ちゃん。

## ベルフ八幡平は省エネ店舗

2013年11月にオープンしたベルフ八幡平は、センサーにより自動点灯することで節電するショーケースや、熱を吸収しにくい屋根材を使い空調機を節電する工夫など省エネ型の店舗となっています。



人感センサー・ガラス扉付きの冷ケースを設置し、省電力に努めています。

## 「エコ棺」ご利用と寄付による植樹は1万本に

葬祭事業「セリオ」では、葬儀の棺に環境負荷の小さい「エコ棺」をおすすめしています。この「エコ棺」は管理された森林から採取した木材を利用した特殊三層構造の紙製。木材の使用は従来の棺の3分の2、火葬時のエネルギーとCO<sub>2</sub>排出量は半分に低減されます。また、1棺ご利用ごとに10本の苗木がモンゴルで植林されます。

2013年度は954件の葬儀のうち219件（23%）、累計では932件となり、植林は10,820本（エコ棺分9,320本、セリオからの苗木寄付1,500本）となりました。

**農産チーム** 顔と暮らしが見える産直品の普及**東長岡果樹生産組合との産直提携30周年  
異常気象の中、供給高は6億4,621万円に**

輸送距離が短い「顔と暮らしが見える」県内産直品の利用は、環境負荷を減らす上で有効です。春先の低温、雨不足、集中豪雨、台風と異常気象の被害が大きい年でした。東長岡果樹生産組合（紫波町）とのりんご産直提携30周年を記念し、「りんごジュース」「りんごパイ」を限定発売しました。



摘み取りから収穫までの一年の作業を、組合員が体験しました。

**水産チーム** 産直品とアイコープ商品の普及**被災メーカーの復興支援を継続し、産直品と  
アイコープ商品の供給高は1億6,454万円に**

「産直真崎わかめ」の供給高はわかめ価格下落の中、2年続けて5千万円を上回りました。また、被災地メーカーへの支援として「アイコープ産直真崎わかめ使用荳わかめ中華味」「アイコープ産直真崎わかめ使用わかめの佃煮」を商品開発しました。



産直収穫祭で、「産直真崎わかめ」をおすすめする盛岡北コープの組合員さん。

**畜産チーム** 県内産畜産物の普及**味付き簡便商品開発等で  
供給高は7億3,956万円に**

産直アイコープ豚は味付き簡便商品が好評で前年比104%の利用、産直しわ黒豚は店舗で計画的に おすすめ企画が実施され、前年比106%の伸長となりました。産直若鶏はメニュー提案が好評で前年比103%のご利用でした。



環境にやさしい味付けノントレイ商品は、たれの種類が豊富で、焼くだけで簡単に調理でき好評です。

**惣菜チーム** 県内産食材を利用した惣菜の供給拡大**2億6,783万円の供給高に**

「普代産すき昆布」の復活や、宮古水揚げの「さんま」を使用した「さんま竜田揚げ」など県産食材への切り替えをすすめたことや、県産材料を使用した新商品を導入したことによって、県内産食材を使用した惣菜の供給高が前年比106%と伸長しました。

**日配・グロサリーチーム** 産直品とアイコープ商品拡大**8億2,131万円の供給高に**

お店でのアイコープつゆの試食・メニュー提案やおすすめ企画が実施されたことで、食品・菓子・生活用品合計では前年並を維持しましたが、日配はお取引先メーカーの廃業もあり前年を下回りました。お米の利用は、価格競争激化の中で苦戦し、前年より減りました。

**環境マネジメントシステム(EMS)の自主運用は5年目をむかえました**

いわて生協は2000年に県内流通分野で初めて環境マネジメントシステム(EMS)の国際規格ISO14001の第3者認証を取得、環境活動を発展させてきました。2009年に3回目の更新審査で認証を得ましたが、2010年下期から独自のEMSに移行しました。EMSのマニュアルを簡素化し、より戦略的なテーマに取り組んでいくことがねらいです。

●**内部環境監査** 21人の監査員が、2014年1月15日から1月31日まで、監査員会議で抽出した事業所およびシステム全体(環境マネジメント責任者および事務局)に対し実施。重大な不適合2件、軽微な不適合1件を指摘しすべて是正しました。また、改善余地(要望)5件、推奨すべき優良事例22件を見出しました。

●**環境情報** 環境に関わる苦情は3件ありましたが全て解決しました。内訳は、商品搬入時の騒音のお申し出2件、組合員宅灯油ホームタンク漏れ1件です。店舗の環境活動に関する学校からの見学は19件あり、310人の生徒・児童に対応しました。

### エネルギー・資材の使用

#### ■エネルギーの使用

電気	22,019千kWh
LPG	243,532m <sup>3</sup>
灯油	139,012ℓ
ガソリン	313,196ℓ
軽油	480,192ℓ
車両LPG	71,169ℓ
ドライアイス	553,660kg
水	126,598m <sup>3</sup>

(委託車両を含む)

#### ■資材の使用

##### 紙

コピー紙(A4版換算)	1,175万枚
コピー紙以外の紙	3,202トン

(共同購入・店舗チラシ・広報物など)

##### 容器・包装材

レジ袋	38,787kg
ポリ袋	7,577kg
トレイ(透明トレイ含む)	139,244kg
ラップ	16,803kg
共同購入シッパー内袋	15,091kg

##### 車両の使用台数(333台)

ディーゼル・BDF車	189台
ガソリン車	139台
LPG車	1台
電気自動車	4台

(2013年4月現在：委託車両は含みません)

### 環境への排出

#### ■大気への排出

NO <sub>x</sub> 排出量試算	165,726kg
CO <sub>2</sub> 排出量	13,251トン (前年度13,095トン)

#### ■廃棄物

一般廃棄物	699,982kg
廃家電の排出(家電リサイクル法)	51台

#### ■事業活動の中で分別・再資源化しているもの

項目	2013年度	前年比
紙	104,757kg	103.8%
びん・缶	83,295kg	99.5%
発泡スチロール	56,802kg	93.6%
発泡スチロール(減容インゴット化)	49,070kg	99.6%
ダンボール	1,366,390kg	97.1%
廃食油	22,976kg	93.5%
魚アラ	171,515kg	94.3%
肉脂	36,014kg	86.2%
生ごみ	136,054kg	76.3%
共同購入シッパー内袋	8,069kg	128.7%
商品納品時フィルム	3,956kg	90.0%
合計	2,038,898kg (2,039トン)	95.3%

### 組合員のリサイクル活動(店舗・共同購入)

上段：回収量(前年比) 下段：枚数換算値

#### トレイ(発泡)

46.8トン (97%)	278万枚に再生
936万枚回収	この他、透明トレイ、ふたが21.3トン回収されています。

#### ペットボトル

102.9トン (96%)	599万枚に再生
171万本回収	

#### 卵パック

19.9トン (108%)	118万枚に再生
118万枚回収	

#### 牛乳パック

49.6トン (90%)	約12万ロールに再生
148万枚回収	

#### 共同購入チラシ

2,843トン (110%)	約382万ロールに相当
回収	アイコープわたしたちのリサイクルトイレットロールに再生

#### 古紙

188トン (同期間比139%)	紙製品に再生
回収	

#### アルミ缶 スチール缶

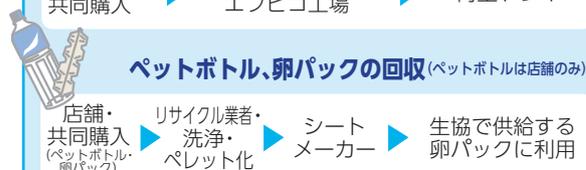
40.9トン (107%)	アルミ・鉄製品に再生
回収	

#### 廃食油

2万2,715ℓ (121%)	BDF(バイオディーゼル燃料)を作ります。自前精製量1万7,082ℓ
回収	

※業者に払い渡して再資源化した数量です。

### いわて生協のリサイクルの流れ



**1990年 いわて生協合併発足**

- 牛乳パックの回収リサイクルを開始
- 買い物袋節約スタンプ制開始
- 印刷用紙、コピー用紙、名刺等の再生紙への切り替え開始

**1991年**

- 使用済みOCR用紙のリサイクルを開始
- 食品トレイの回収開始

**1992年**

- アルミ缶の回収を青山店（現ベルフ青山）で開始
- 朝配達牛乳のビン容器化のテスト実施

**1993年**

- 朝配達牛乳で紙パックからリターナブルビン容器（720ml）へ切り替え
- レシート用紙が再生紙に
- 包装ラップを非塩ビラップに切り替える実験

**1994年**

- 包装ラップを非塩ビラップに切り替え
- 店舗の飲料自動販売機の台数を削減（42台から20台へ）
- ギフトの簡易包装紙を開発使用

**1995年**

- ペットボトルの回収リサイクルを開始
- 共同購入トラックにLPG（低NOx）を導入開始

**1996年**

- 共同購入盛岡3支部で商品案内チラシ回収リサイクルを開始
- 注文のないOCR注文用紙の回収リサイクルを開始

**1997年**

- 共同購入全支部で商品案内チラシ回収リサイクルを実施
- 盛岡市「ごみ減量・リサイクル協力店」に認定

**1998年**

- 回収したペットボトル・卵パックを卵パック原料として再利用
- 回収した商品案内チラシを原料にトイレットペーパーを商品開発

**1999年**

- アイコープ低温殺菌牛乳（200ml）でリターナブルビン容器使用
- ペットボトル・卵パック圧縮減容の作業開始

**2000年**

- 県内流通業で初めてISO14001規格の外部認証取得
- LPG車両が50台を超え半数以上の導入計画達成
- マイバッグ、マイバスケットの本格的普及活動を開始

**2001年**

- 「いわて大環境祭」（滝沢村・県産業文化センター）に出展参加
- 印刷物に大豆インキを採用
- 遺伝子組換え原料・飼料の排除のとりくみ本格化

**2002年**

- 買い物袋節約スタンプからカードポイント制に変更
- 共同購入の内袋を回収し、内部使用のゴミ袋にリサイクル

**2003年**

- 買い物袋節約率が30%を超える
- 奥州市コープアテルイで生ごみの堆肥化リサイクルを開始

**2004年**

- 印刷物・帳票類の再生紙への切り替えが終了

**2005年**

- 岩手県「エコショップ」制度第1号認定を受ける（全店）
- 「森林（もり）を守る募金」開始（以後4年間で県内環境団体へ150万円贈呈）

**2006年**

- セリオホールみたけに太陽光発電1基目を導入
- 共同購入トラックでBDF使用開始（6台）

**2007年**

- PPバンド、ストレッチフィルムなど廃プラスチックのリサイクル拡大
- 買い物袋節約率45%に到達。50%をめざす新目標を決定

**2008年**

- 発泡スチロールの減容・リサイクル施設完成
- 共同購入トラックで燃費改善のとりくみ開始
- 買い物袋節約率が51%となり店舗利用者の過半数の節約率を実現

**2009年**

- 本部構内にBDF精製施設を設置
- 透明トレイ・ふたの回収リサイクルを開始
- 盛岡エリア店舗の生ごみ（食品残さ）を小岩井農場内でガス発電・液肥へのリサイクルを開始

**2010年**

- 「コープの森づくり」活動スタート。葛巻町で第1回の植樹実施
- BDF使用が本格化し全支部で24台がBDFで走行
- 県「エコショップ」制度で「特別表彰」（模範的事業活動に対して）を受賞
- 3回目の更新審査合格を機にISO14001を終了。独自EMS運用へ

**2011年**

- 家庭の使用済み揚げ油回収スタート
- セリオホールみやこ開設、2基目の太陽光発電導入
- 「低炭素杯2012」で特別賞受賞（震災時のBDF活用が評価された）
- イオングループ3社と共同で、レジ袋大幅削減に向けた提言書を、岩手県と岩手県市町村清掃協議会へ提出

**2012年**

- 「コープの森づくり基金」設立
- 「マイバッグ持参の日」にレジ袋節約率84.7%と過去最高を達成
- 久慈支部、けせん支部、ベルフ牧野林に太陽光発電設置
- 「古紙回収システム」ベルフ仙北でスタート
- 県「エコショップ」制度で、コープ高松が総合表彰、いわて生協全店も特別表彰を受賞

**2013年**

- セリオホール牧野林、ベルフ山岸、県南センターに太陽光発電設置
- 3生協による風力発電共同事業に基本合意
- 「食品産業もったいない大賞」で審査委員長賞受賞
- 県「エコショップ」制度でベルフまつぞのが総合表彰
- 電気自動車4台を盛岡南センターに導入
- 奥州市での「第2のコープの森づくり」に調印

## 2013年度の事業の決算概況

## 2013年度損益計算書

(2013年3月21日～2014年3月20日)

単位：百万円

科目	実績
供給高	37,659
供給剰余金	9,410
その他の事業収入	1,216
事業総剰余金	10,639
管理費	10,006
人件費	4,612
物件費	5,395
事業剰余金	633
事業外収益	79
事業外費用	44
経常剰余金	668
特別利益	42
特別損失	425
税引前剰余金	285
当期剰余金	71

## 事業部門別供給実績

(2013年3月21日～2014年3月20日)

単位：百万円

事業部門	実績
店舗事業	20,925
共同購入事業(灯油含・朝配達牛乳む)	15,658
葬祭事業	1,074
その他	2
総供給高	37,659

## 2013年度貸借対照表

(2014年3月20日現在)

単位：百万円

資産の部		負債・資本の部	
流動資産	8,195	流動負債	7,512
固定資産	10,978	固定負債	1,689
有形固定資産	8,525	出資金	7,563
無形固定資産	241	剰余金	2,409
その他固定資産	2,211		
資産合計	19,174	負債・資本合計	19,174

## いわて生協のプロフィール (2014年3月20日現在)

本部／岩手県滝沢市土沢220番地3

電話 019-687-1321 (代表)

FAX 019-687-1491

http://www.iwate.coop/

創立／1990年3月21日

常勤者数／1,997人 (パート・アルバイト常勤者を含む)

出資金／76億4,054万円

供給高／376億5,914万円 (2013年度実績)

組合員数／21万7,408人 (県内世帯数比42%)

班数／1万1,215班 (個配含まず)

班員数／3万3,321人

個人宅配／3万9,727人



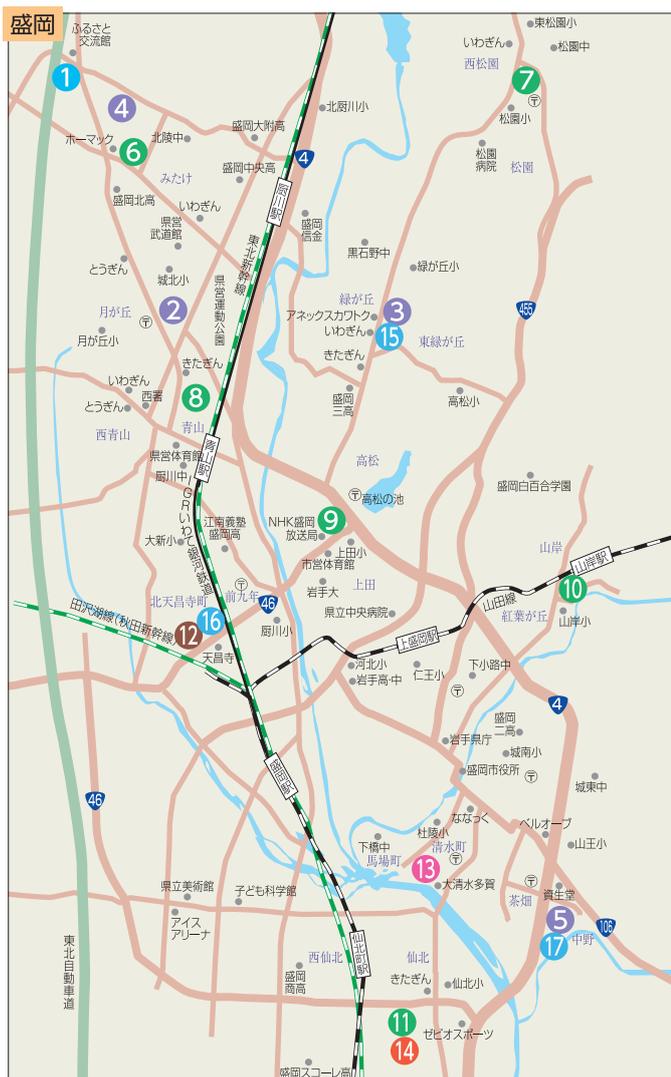
## 「常勤者の行動基準ハンドブック」を改訂

2009年制定のものを、2013年11月～2014年1月にかけて、現在の情勢に合わせて見直し、より常勤者に響く言葉・表現に改訂しました。



各分野から選抜された「改訂タスク」7人の意見を反映させて作成。全常勤者に配布し、行動基準を再確認しました。

# 事業所一覽



- 1 いわた生協本部**  
滝沢市土沢220-3  
管理本部/役員室・開発施設部・組織本部 ☎ 019-687-1321  
事業本部/商品部・店舗事業部・品質管理室 ☎ 019-687-1441  
経理チーム ☎ 019-687-1341  
共済センター ☎ 0120-168160  
コープ保険センター ☎ 0120-239739  
夕食宅配センター ☎ 0120-194502  
盛岡灯油センター ☎ 0120-112021  
住まい暮らしのサービスセンター ☎ 0120-879300  
コープくらしの助け合いの会  
盛岡地区 ☎ 019-699-1777  
盛岡以外 ☎ 0120-537940
- 2 セリオホールみたけ 年中無休**  
盛岡市みたけ3丁目7-35  
P 30台 ☎ 0120-529711
- 3 セリオホール緑が丘 年中無休**  
盛岡市緑が丘3丁目10-35  
P 36台 ☎ 0120-809241
- 4 セリオホール牧野林 年中無休**  
滝沢市牧野林868-1  
P 40台 ☎ 0120-447631
- 5 セリオホール中野 年中無休**  
盛岡市中野2丁目3-25  
P 60台 ☎ 0120-059212
- 6 Belf牧野林** 9時~23時  
滝沢市牧野林291-1  
P 550台 ☎ 019-699-3566
- 7 Belfまつどの** 9時~22時  
盛岡市松園3丁目18-20  
P 110台 ☎ 019-662-5152
- 8 Belf青山** 9時~23時 灯油取扱  
盛岡市青山4丁目17-2  
P 180台 ☎ 019-647-8181
- 9 コープ高松** 7時~23時  
盛岡市上田4丁目21-5  
P 30台 ☎ 019-624-2218
- 10 Belf山岸** 9時~22時 灯油取扱  
盛岡市山岸2丁目16-8  
P 150台 ☎ 019-654-2184
- 11 Belf仙北** 9時~22時 灯油取扱  
盛岡市仙北3丁目8-40  
P 180台 ☎ 019-635-0135
- 12 コープ介護・福祉センター”あい”** 9時~18時 P 80台 ☎ 0120-179131  
盛岡市保連庭園 盛岡市保連建造物
- 13 南昌荘** P 10台  
盛岡市清水町13-46  
10時~17時・月休 ☎ 019-604-6633
- 14 コープトラベルいわて**  
盛岡市仙北3丁目8-40(Belf仙北2階)  
10時~18時30分 ☎ 019-631-2671
- 15 緑が丘組合センター**  
盛岡市緑が丘3丁目1-10(薬王堂2階)
- 16 天昌寺組合センター**  
盛岡市北天昌寺町1-60(”あい”2階)
- 17 中野組合員センター**  
盛岡市中野2丁目10-10



- 18 コープチェリオ(黒沢) 8時~19時半**  
宮古市崎鉾ヶ崎1-11-26  
P 140台 ☎ 0193-64-4121
- 19 Belf西町** 9時~22時  
宮古市田の神2丁目2-30  
P 80台 ☎ 0193-62-0203
- 20 コープ西ヶ丘** 10時~21時  
宮古市西ヶ丘1丁目6-1  
P 40台 ☎ 0193-64-1158
- 21 マリンコープDORA** 10時~20時  
(5/21~10/20は21時閉店)  
(日曜・祝祭日、1日、15日は9時開店)  
宮古市小山田2丁目2-1  
P 600台 ☎ 0193-63-3131
- 22 セリオホールみやこ 年中無休**  
宮古市小山田3丁目3-5  
P 60台 ☎ 0120-634477

**Belf八幡平** 9時~22時  
八幡平市大更18-88-14  
P 380台 ☎ 0195-68-7235

**コープAterui** 10時~22時  
(日曜・祝祭日、1日、15日は9時開店)  
奥州市水沢区佐倉河字東沖ノ目123  
P 1400台 ☎ 0197-51-0088

**コープ関COLZA** 9時~22時  
一関市石畑3-1  
P 380台 ☎ 0191-26-3331

**セリオホール釜石** 年中無休  
釜石市松原町2丁目7-23  
P 20台 ☎ 0120-253660

- 共同購入センター**
- 盛岡北センター**  
滝沢市土沢220-3  
☎ 0120-042306
  - 盛岡南センター**  
矢巾町大字広宮沢第3地割65-3  
☎ 0120-373502
  - 宮古センター**  
宮古市田鎖第8地割字十文字12-1  
☎ 0120-693312
  - 花北センター**  
花巻市石鳥谷町小森林第5地割220-1  
☎ 0120-405531
  - 県南センター**  
奥州市前沢区字五合田63-8  
☎ 0120-803620
  - 釜石センター**  
釜石市大字平田第3地割75-1  
☎ 0120-272201
  - けせんセンター**  
大船渡市盛町字馬場23-5  
☎ 0120-263957
  - にのへセンター**  
一戸町一戸字越田橋25-1  
☎ 0120-255582
  - 久慈センター**  
久慈市新井田3-98-1  
☎ 0120-341588